

めでいかすとり Medicastre

一般社団法人 鶴岡地区医師会 基本理念

鶴岡地区医師会は、地域住民の健康維持・増進と健やかな長寿社会の実現のために地域に貢献するとともに、医の心を忘れず知識と技術の向上をめざし、不断の研鑽に励みながら日々前進する組織をめざします。



「鶴岡准看護学院第63回生」

鶴岡准看護学院閉校記念式典・懇親会

日時：令和5年3月11日(土) 14:00～
場所：グランドエル・サン

閉校のご挨拶

鶴岡准看護学院は、鶴岡地区の看護職養成の必要性から、明治40年に西田川郡医師会主催で看護婦講習会を開催したことに始まり、その後幾多の変遷を経て、鶴岡地区開業医の要望に応じ、昭和34年3月に山形県の設置指定を受け開校いたしました。昭和59年には鶴岡地区医師会館竣工により、恵まれた設備の中で教育内容の充実を図り、今日まで1,500名以上の准看護師を社会に送り出し、鶴岡地区、ひいては庄内一円のみならず、県内あるいは隣接県の地域医療と医療機関を支える一助となってきました。鶴岡地区の医療機関にとっては、看護職の確保が難しい状況ですが、いずれの医療機関においても、必ず鶴岡准看護学院の卒業生が従事していたことと思います。両親によって昭和42年に開設された福原医院も、開院当初から鶴岡准看護学院の卒業生がずっと勤務してくれています。最初は、夜間高校に通いながら鶴岡准看護学院の学生として、住み込みしながら働いてくれた方もおられました。卒業後は、仙台の進学コースに進まれましたが、私にとって、身近にいた看護職員は、すべて鶴岡准看護学院出身です。

このように、この地域においてかけがえのない准看護師養成所を閉校することは、断腸の思いです。閉校に至った原因はいくつかありますが、入学志願者の減少と、令和4年から開始された看護基礎教育の新カリキュラムへの対応ができなくなることでした。平成20年代では、定員の2～3倍の応募者がおり、入学者も定員以上になることも多かったのが、ここ数年は、受験者が半数程度になり、二次募集を行っても定員割れする状態となっていました。准看護学院

の運営に多大な影響を及ぼしていましたが、地域の看護職員確保のため、何とか存続を、という方針で運営してまいりました。しかしながら、新カリキュラムでは「准看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」が新たに策定されました。語学や体育などの基礎科目が削除され、薬学・看護技術・臨床科目が増加し、より高度の医学的知識や技術が求められることになり、そのカリキュラムに対応する講師の確保が困難になる、という問題が出てきました。それまでも、講師をお願いするのに大変苦労しており、鶴岡市立庄内病院看護部の方々には、ご多忙の中、快くお引き受けいただいておりますが、特に看護以外の基礎科目や専門科目の疾病各論など、医師が担当しなければならない講義の講師をお引き受けくださる先生方が年々減ってきていて、その確保に教員は四苦八苦しておりました。

このようなことから、令和5年3月末をもって、鶴岡准看護学院が閉校いたします。64年の歴史と伝統ある学院がなくなることは、本当に寂しい気持ちで一杯です。これまで、長きにわたり学院の運営に対し多大なるご支援、ご協力を賜りました講師、実習施設並びに就業施設等々、関係各位の皆さまに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また、卒業生の皆様におかれましては、学院で学んだ事を忘れずに地域医療を支える一員として、いつまでもご活躍くださることを祈念いたします。

一般社団法人鶴岡地区医師会長
鶴岡准看護学院長
福原晶子

鶴岡准看護学院閉校記念式典および懇親会

令和5年3月11日(土)鶴岡准看護学院閉校記念式典がグランドエル・サンにおいて挙行されました。来賓16名、会員23名、講師・卒業生・その他118名、計157名のご臨席をいただきました。福原晶子学院長より「創立当時、鶴岡准看護学院は働きながら資格が取れる魅力的な進路先の一つでした。これまで1,557名が卒業しそれぞれ医療現場で活躍しています。近年の定員割れに加え、新カリキュラムへの対応や講師の確保が困難となり64年の歴史に幕を閉じることになりましたが、卒業生には今後も誇りをもって地域医療を支えることをお願いします。」とご挨拶をいただきました。64年の永きにわたり、多くの講師の方々にご尽力いただきました。式典では、実習病院をはじめ関係団体と20年以上講師を担当された方々へ、福原学院長より感謝状が贈呈されました。63回生総代の学生より「3月3日の卒業式には在校生はいませんが、教員や家族に見守られ感謝の気持ち

でいっぱいになりました。鶴岡准看護学院の卒業生として自信と誇りをもって看護の道を歩んでいきます。」と感謝の言葉が述べられました。ここ数年は校歌も斉唱できませんでしたが、式典の最後には全員で校歌を斉唱し閉会となりました。

その後、閉校記念懇親会が開催され、69名の方々が参加されました。長年講師を担当し学院を支えていただいた懐かしい先生方との再会には胸がいっぱいになりました。

懐かしい昔話をしながらあっという間に時間が過ぎたように思います。最後に全員で「蛍の光」を斉唱し閉会となりました。

閉校記念式典の開催や閉校記念誌の発刊など、多くの方々にご協力をいただき心より感謝申し上げます。歴史と伝統ある学院の実績を引き継ぎ、無事に閉校をむかえられましたことに安堵しております。ありがとうございました。

鶴岡准看護学院 教務課(現 総務課付)
五十嵐 くみ子



鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：令和5年4月14日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

『職域のメンタルヘルス対策に活かす アンガーマネジメント』

株式会社メディカル・マジック・ジャパン 代表取締役
平野井労働衛生コンサルタント事務所 代表

平野井 啓一 先生

2019年6月労働施策総合推進法の一部改正が行われた。この改正によって、国は、パワハラについても法律上の明確な定義を設けて、企業にパワハラ防止措置を講じること等を義務付けた。パワーハラスメントの定義が法律上規定されたこと等を踏まえ、精神疾患の認定基準の「業務による心理的負荷評価表」にパワーハラスメントが明示された。

端的に言えば「パワーハラスメントも労災である」ということが定義されたということである。労災の防止は、労働安全衛生法に明記された産業医の重要な職務の一つである。とすれば職場におけるパワハラは、人権や個人の捉え方の問題だけではなく、労災の一つとして産業医は積極的にかかわるべき問題とも言える。

またパワーハラスメントは法律の中で下記のように定義されている。

- ①優越的な関係を背景とした言動であって
 - ②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより
 - ③労働者の就業環境が害されるものであり
- ①から③までの3つの要素を全て満たすもの

3つ目の「労働者の就業環境が害される」ということは快適職場の形成が阻害されると言い換えられる。快適職場の形成もまた産業医の重要な職務の一つである。また就業環境が害されることは労働者のパフォーマンスが下がることにも繋がる。これは健康経営の言葉で言いかえると、プレゼンティーズムが増加するというこ

とになり、企業の経営上の問題としても健康経営を進める観点でも産業医の関わりが期待される。

厚生労働省の「職場におけるハラスメント関係指針」の中で、様々な講ずべき措置についての記載がある。その中で望ましい取り組みの一つに感情をコントロール手法についての研修と書かれている。この感情というのは主に怒りの感情を指している。多くのパワハラ、特にパワハラ6分類の中で肉体的な攻撃、精神的な攻撃に分類されるものは怒りの感情を伴う場面が散見される。実際に産業医面談の場面において、パワハラ起因のメンタル不調者との面談では対象者が行為、言動に及ぶ際怒りの感情を伴っていたと聞くことが非常に多くある。よって怒りの感情をコントロール手法を身に付けることは、パワハラ対策にとっても効果的でより実践的なものであると考えられる。

前述した理由から、産業医として企業担当者からパワハラ対策について相談されることは十分想定され、実際にすでに相談されている方もいらっしゃると思われる。その際に怒りの感情のコントロール手法について、概要を伝え、対策に一助をとして情報提供できることは産業医としての視野を広げ、企業の信頼を高める事にもつながる。今回の研修が今後の産業医資質向上、および業務に活かされることを切に願う。

荘内地区健康管理センター協力医会

日時：令和5年3月17日(金) 19:00～
場所：グランド エル・サン

3月17日(金)、3年ぶりとなる荘内地区健康管理センター協力医会をグランド エル・サンで開催いたしました。日頃からセンター事業における健診の診察、読影診断等でご協力いただいている会員の先生20名と、関係職員14名を合わせた34名が参加し、石原良センター長の進行で開会いたしました。福原晶子会長からのごあいさつでは、新型コロナの影響で3年ぶりの開催なので今回は楽しみましょうというお言葉をいただき、その笑顔で会場は和やかな雰囲気になりました。

その後、木村事業推進課長より今年度事業実績と来年度事業計画が報告され、コロナ禍でも会員の先生方のご協力のもと減収することなく順調に進んでいることを報告させていただきました。

懇親会は、齋藤慎前担当理事の乾杯で始まり、どのテーブルも会話が弾み、皆さん笑顔で終始和やかでした。お酌無しではありましたが、久しぶりに会を開くことができ、以前に戻りつつあることを実感しました。

閉会では菅原真樹副会長より、若い先生にも声をかけて今後の医師会を盛り上げ、高い意識をもって頑張っていこうという心強いごあいさつをいただき、職員一同、身の引き締まる思いを抱きながらのお開きとなりました。

会員の先生方へは令和4年度のご協力に改めて感謝申し上げます。また次年度もどうぞよろしく願いいたします。

なお2次会では健康管理センター事業に長くご尽力いただいた鈴木伸男先生と齋藤壽一先生のご冥福をお祈りし、献杯が行われました。

荘内地区健康管理センター 健診課 佐藤日出夫



新入会員紹介 ～令和5年4月1日入会～

①氏名 ②生年月日 ③生まれた所・育った所 ④勤務先・診療科目
⑤出身校 ⑥趣味・特技 ⑦鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言



- ① 矢野 亮
- ② 昭和54年1月1日
- ③ 千葉県船橋市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・産婦人科
- ⑤ 三重大学
- ⑥ サッカー
- ⑦ 鶴岡地区の医療に少しでも貢献できるよう精進して参ります。ご指導の程、よろしくお願いします。



- ① 栗原 一貴
- ② 昭和61年11月10日
- ③ 群馬県前橋市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・麻酔科
- ⑤ 山形大学
- ⑥ ドライブ、読書
- ⑦ よろしくお願ひします。



- ① 佐藤 弘典
- ② 昭和53年3月30日
- ③ 東京都生まれ・東京都育ち
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 東北医科薬科大学
- ⑥ 英会話（あまりうまくありませんが好きです）
- ⑦ 至らない点も多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願いします。



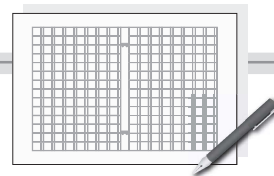
- ① 神保 瑞希
- ② 平成8年10月29日
- ③ 山形市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 山形大学
- ⑥ ドライブ、サウナ
- ⑦ まだまだ未熟ではありますが、ご指導よろしくお願いします。



- ① 東海林 莞央里
- ② 平成10年2月3日
- ③ 新潟県新潟市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 東北医科薬科大学
- ⑥ スポーツ観戦、海外旅行
- ⑦ 誠心誠意頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



原稿募集中！



趣味・話題・旅行記・思い出があるもの・大切な思い出の出来事等なんでも構いません。 総務課までご一報を！

特別寄稿

書評 島田高志著『四季彷徨 フォト俳句小景集(1)』

黒羽根 洋司



文学と医学は昔から相性のいいお友だちであった。とりわけ精神科には斎藤茂吉や北杜夫の例を挙げるまでもなく、さまざまな文芸に親しむ人がいる。精神科の先生方は人間の複雑な思考経路を解き明かし、患者の心に重ね合わせる

日々の作業で“ことば”を磨いてきている。彼らはまた、日常診療から生まれた^{おわり}澱や憂さを汲みやすい器として文学に手を伸ばすようになった。

本書の著者・島田高志さんもまたそのような精神科のお医者さんである。市内での開業医生活を15年で辞め、今は三川町の田んぼの真ん中にある精神科・老人科の病院に勤めている。俳句を始めてから25年というから、そのキャリアは長い。

当直日誌に句を書き添えたりしていたが、やがては角川書店の雑誌『俳句』に投稿するようになり、一時は結社にも所属していたという。閉院と同時に深谷雄大氏が主宰する「雪華」を辞め、今は独自の句境を楽しんでいる。

その島田さんが5年ほど前から始めたのがフォト俳句である。散歩や旅行の折々に撮った写真に俳句をつけ、やっているうちに写真をデジタルに加工してみたり、自分なりに英訳した一文を添えたりするようになっていた。

こうして出来たのが『四季彷徨 フォト俳句小景集(1)』である。この中から数句を抜き、島田ワールドの一端を紹介しよう。

まず表紙の写真から。これを選んだわけは、「トンネルの先に青空風薫る」の句と挿入文で納得できる。幼い頃のエピソードが鮮やかな光景として浮かび上がるのは、作者の喚起力の豊かさと映像の力によるものだろう。

四季のうち冬を冒頭にもってきたのは長く雪国で過ごしてきたせいだ。「その話聴こえぬふりで雪を聴く」では、山王神社の赤い橋と雪を対比させて、詠み手の心のうちまで暗示している。

精神科医ならではの俳句がある。

「向日葵や眩暈がしたら耳を切る」、「幻聴が来る方向へ秋の風」。前者は熱い午後に衝動的に耳を切り落としたゴッホの逸話を、後者はムックの「叫び」のフィギア^{やまひ}を写真にして、二人の画家が共通の病〈統合失調症〉を創作の源としていたことを句材にしている。

島田さんの別の一面を示す句がある。

「円盤を寸止めせよタンポポよ」趣味で陸上競技をやる作者は、円盤投げの練習競技場のフィールドに生える小さな花にも目と心を配る優しさがある。冬はアイスホッケーもやるというから立派なアスリートである。

句集には美しい庄内の風景や独特の習俗も挿し込まれ、多様な季節の表情が懐かしさを誘う。凝縮の文芸である俳句は写真で精彩を運び、奇妙な味わいを生んでいる。

その他、「ダジャレ俳句」、「怪奇俳句」、「パロディ俳句」と作者が呼ぶ一風変わった世界が随所に配置されている。「桜桃に応答も無き^{はず}王党派」は韻を踏みながら、言葉から言葉へと弾んでいく。この跳躍の筋力のもとには作者の豊富な語彙力であり、連想力でありパロディ力であろう。

多彩な経験と並大抵でない読書量、そして「百獣の王」と称されながらも俳句を詠む武井壮にも似た穏やかな風貌を持つ島田高志さんが創り上げた独自の芸術世界に、しばし浸ってみてはどうだろうか。ややもすれば余裕がなくなっている現代に、読む者の心を自由に解き放ってくれる島田さんの俳句はありがたい。リズム感がよく、読者に新鮮な風を吹き込む諸句を存分に楽しんでいただきたい。

本句集のお求めは阿部久書店（TEL0235-22-0220）で、定価千円。

（本文は4月11日付けの荘内日報に掲載された。）

医師会ニューフェイス

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと

～令和5年4月1日採用～



- ① 清野 由利
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 薬剤科 薬剤師
 ③ パズル
 ④ 早く仕事に慣れるようにがんばりたいと思います。



- ① 鈴木 里永子
 ② 総務部 地域医療連携室
 介護支援専門員
 ③ 趣味：旅行、美術館での絵画鑑賞
 特技：パズルを組み立てるように
 品物を整頓する
 ④ 初めての転職でドキドキとワクワクが入混じっています。皆さんと一緒にいい仕事をしたいと思っていますので宜しくお願いします。



- ① 阿部 太輝
 ② 荘内地区健康管理センター
 総務会計課 一般職
 ③ 運動（主に陸上競技）
 ④ 精一杯頑張ります。よろしく
 お願いします。



- ① 齋藤 彩音
 ② 荘内地区健康管理センター
 保健企画課 保健師
 ③ 映画鑑賞、旅行
 ④ 一日でも早く仕事を覚え、皆様の力になれるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



- ① 佐藤 璃音
 ② 荘内地区健康管理センター
 事業推進課 一般職
 ③ 映画・動画鑑賞
 ④ 丁寧な仕事ができるよう、精一杯頑張ります。よろしく
 お願いします。



- ① 小寺 真依
 ② 荘内地区健康管理センター
 臨床検査課 臨床検査技師
 ③ YouTube視聴、韓国語の勉強
 ④ 多くのことを吸収して、一人前の技師になれるよう努めます。よろしく
 お願いします。



- ① 佐藤 雅浩
 ② 荘内地区健康管理センター
 臨床検査課 臨床検査技師
 ③ 映画鑑賞、カフェ巡り
 ④ 仕事を早く覚えられるように、精一杯頑張ります。よろしく
 お願い致します。



- ① 遠藤 有華
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 リハビリテーション課 作業療法士
 ③ バドミントン
 ④ 1日でも早く地域医療に貢献
 できるよう頑張ります。ご指導・
 ご鞭撻の程よろしく
 お願い致します。



- ① 佐藤 歩未
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 リハビリテーション課 作業療法士
 ③ 趣味は写真を撮ること、アニメ
 を見ること。特技はダンスです。
 ④ まだまだ未熟ですが精一杯が
 ンぱりたいと思います。よろしく
 お願いします。



- ① 齋藤 沙也佳
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 リハビリテーション課 作業療法士
 ③ 手芸
 ④ チームの一員として力になれる
 よう、頑張りたいと思います。
 よろしく
 お願いします。



- ① 佐藤 優希
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 理学療法士
- ③ 音楽を聴くこと
- ④ 至らない点もあるかと思いますが、一生懸命頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願
いいたします。



- ① 佐々木 陽花
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 作業療法士
- ③ 旅行
- ④ 早く仕事と土地に慣れて、一
人前になれるように頑張りたい
です。



- ① 日下部 佑珠
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
リハビリテーション課 作業療法士
- ③ 美味しいスイーツ探し
- ④ 笑顔で元気よく頑張ります。
よろしくお願います。



- ① 成田 和香
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 猫と遊ぶこと
- ④ 日々の学びを大切に、精一
杯頑張ります。よろしくお願
いいたします。



- ① 佐藤 優直海
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 介護福祉士
- ③ 漫才鑑賞・スポーツ・買い物
- ④ 病院勤務は初めてなので、新しい
事を学びつつ今までの経験を生かし
て一日一日を大切に笑顔を忘れずに
日々精進してまいります。



- ① 赤松 直美
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 音楽をきくこと、料理をすること
- ④ 春から看護師として勤めさせて
いただきます。不安が大きいです
が、早く仕事を覚え患者様、ご
家族様、地域の皆様のお役に
立てるよう、頑張ってい
きます。よろしくお願
いします。

～令和5年4月10日採用～



- ① 松浦 剛志
- ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
- ③ YouTube
- ④ 4月から入社した松浦です。
一日も早く仕事を覚え微力ながら
お力添え出来るよう頑張ります。



表紙

「 鶴岡准看護学院第63回生 」

鶴岡准看護学院最後の卒業生となった63回生です。
屋上に出て、ドローンで撮影していただきました。



編集後記

鶴岡准看護学院を卒業された皆様、誠におめでとうございます。春は出会いの季節であり別れの季節でもあります。卒業される皆さんは新しい出会いで期待に胸を膨らませていると思います。

この度、鶴岡准看護学院が閉校になったことは、一つの歴史が終わったと感じます。新しいカリキュラムに対応できなかったことが理由ですが、新しい世の中に対応していくことが大変であるのだとも言えます。

新しくなると言えば、5月8日からコロナ対策も5類になることに伴い変化があり、元に戻ることもあれば新しい形で始めることもあるのかと思います。私自身は医師会の皆さんとまたビアパーティーなど行けるようになるのではと楽しみにはしておりますが、やっと慣れてきたコロナ診療の対応が変わっていくため、どんな形にしていくのかまた考えないといけないと思っております。

ただ自分一人で悩んでいても仕方がないので、医師会の皆さんと会える時飲み席とかで「コロナ診療どうしてますか？」なんて気軽に聞ければいいですね。

顔が見える相手に相談できることも医師会のいいところではないかと思っております。ただコロナのせいで飲む機会が減ったせいか、前より深夜まで飲むのがしんどくなってきたので、お手柔らかにお願いします（歳をとって体力が無くなったせいかもしれませんが）。

（真島 英太）

編集委員：渡邊秀平・菅原真樹・吉田 宏・阿部周市・真島英太・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>